



将来のキャリアに向かってチャレンジ!

英語学科の目標は、**ことば・異文化・キャリア**の3つのコミュニケーション能力をきたえて、
長崎発「**グローバル・キャリア女子**」を育成することです!!!

海外ボランティアを
通して
「挑戦する事の大切さ」を
学びました!

2020 年度卒業生 菅原 来実さん

(長崎県立西陵高等学校出身) からのメッセージ

(菅原さんは、**日本赤十字社 広島県支部**に就職が内定しました。)



私が英語学科に進学を決めたのは「英語を勉強することによって、自分の視野を広げる事ができ将来の就職の選択肢が増えるだろう」という単純な理由でした。しかし、活水女子大学での4年間の生活は、望んでいた以上にたくさんの出会いや経験と共に自分自身を大きく成長させる事ができました。



インドネシア——
幼稚園で日本の数字の教え方を教えた時



インドネシア——
折り紙をしているところ



カンボジア——
英語を教えていたクラスでの写真



カンボジア——
英語を教えていたクラスの子どもたちと



カンボジア——
最終日にみんなで記念撮影

在学中には様々な事に挑戦し、それらの素晴らしい経験が今の私自身を形成していると思います。思い出深い挑戦の一つに**海外ボランティア**があります。私は、2年次と3年次の夏休みを利用して**インドネシア(日本語クラスサポート)**と**カンボジア(子供へ英語を教えるプログラム)**でのボランティアに参加をしました。

海外ボランティアでは異文化を肌で感じるだけではなく自分の成長に繋がる発見や新しい考え方を得る事ができました。海外ボランティアに挑戦するまでは失敗や

間違いを恐れていましたが、活動を通して「**挑戦する事の大切さ**」を学びました。挑戦する事によって新たな発見や学びがある事を経験し、それは挑戦した自分しか得る事のできない物だと感じました。迷ったり悩んだりする事があっても、まずは挑戦してみることを大切にしています。また、様々なバックグラウンドを持った人たちと出会い、「**相手の立場になって考える事**」の大切さを学びました。挑戦する事の大切さを学び帰国後は海外ボランティアでの経験を多くの人に知ってもらいたいと思い**長崎大学外国語プレゼンテーションコンテスト**に挑戦しました。当日は、大勢の人の前で練習の成果を発揮することができ、さらには、自分自身の成長につながる気づきもありました。

卒業後は、**日本赤十字社**の職員として広島県で勤務します。「**人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.**」という理念に活水女子大学での学びが直結しました。これから先もたくさんの困難と出会うと思いますが、相手が何を求めているかという事を考えながら挑戦や学びの姿勢を忘れる事なく頑張ります。

最後に、在学中たくさんの指導、応援、サポートをしてくださった先生方、友人、家族に感謝いたします。ありがとうございました。新天地でも感謝の気持ちを忘れず私らしく精一杯頑張ります。



プレゼンテーションコンテストの練習の時の写真です。

エヴァンズヴィル大学への
留学を経験して、
様々なことに挑戦できる
ようになりました!

2020 年度卒業生 堀 華純さん (長崎県立長崎北高等学校出身) からのメッセージ (堀さんは、東京海上日動火災保険に就職が内定しました。)



活水は第一志望の大学ではなかったのですが、複雑な気持ちで入学式を迎えました。それから4年間の学生生活を経て色々なことを経験し、英語だけでなく新たなことに挑戦する積極性を身につけることができました。



アメリカのエヴァンズヴィル大学に留学しました。

大学生活の中で一番思い出に残っているのは2年次に経験したアメリカのエヴァンズヴィル大学への留学です。私は元々新しいことに挑戦することを避ける傾向にありました。なので、最初の頃は文化の違いに戸惑い、また自分の英語力のなさを痛感し控えめになってしまうこともありました。しかし、自分から何かを始めなければ何も変わらないということに気づき自分から様々なことに挑戦できるようになりました。また、辛い時は多くの方が助けてくださり、支えてくださる皆さんのおかげで今の私があるのだと再確認できました。

留学から戻ってからは、私も誰かの支えになりたいと思い日本語支援やボランティア活動、長崎の活性化に向けた出張オープンキャンパスに参加しました。多くの人の前で話すことや新しいことを始めることができるようになったのは活水での授業や留学のおかげだと思っています。

最後の1年はコロナウイルスの影響で授業も就職活動も想定外の形になりました。オンライン授業が増え、ゼミの先生や仲間に会える機会が少なかったのは寂しかったですが、離れていても先生の丁寧な指導とゼミのメンバーの助けも

あり卒業論文を仕上げるのができたのは忘れられない思い出になると思います。また、就職活動も希望していた業界の採用中断が相次ぎ苦しい就職活動でした。しかし、改めて自分の軸について考え直す良い期間になりました。就職課の方々の支援もあり自分がやりたいことを見つけ、東京海上日動火災保険様に内定をいただくことができました。

現在も大変な時期が続いていますし、これからも辛いことはあると思います。苦しいときこそ活水で学んだことを活かし感謝の気持ちを忘れず、笑顔で前に進み続けたいと思います。そしてお世話になった先生方に胸を張ってあいさつに行けるように私らしく頑張ります。最後になりましたが、支えてくださった家族、先生方、友達に感謝の気持ちでいっぱいです。今までありがとうございました。



留学中に仲のよかった友達



留学中の休暇で友達の家泊まりに行った時の写真



出張オープンキャンパスのようす



日本語を教えていた生徒たちとの写真
(日本語支援の活動)



卒論の指導の先生、セミナーのメンバーとの記念撮影